

拉致疑い 本県は3人

県警HPで情報求める

家族「消息知りたい」

北朝鮮による拉致の疑いが排除できない失踪者の情報を求めるため、警察庁は28日、親族の同意を得た失踪者の名前や写真、不明時の状況を全国の警察のホームページ(H.P.)に順次掲載することを決めた。群馬県警が同日掲載したのはこれまで公になっていなかった男性1人を含む本県の男女3人。県警は今後の捜査に役立てるため家族のDNA採取も始めた。家族や支援団体は「大きな前進」と歓迎し、有力情報の提供に期待を寄せた。

新たに恩田さん(前橋)

(前橋)



恩田武志さん



加藤八重子さん



横田道人さん

新たに公になったのは前橋市の恩田武志さん。失踪当時(26)は、1983年6月20日、旧粕川村の自宅を出たまま行方不明になった。恩田さんの兄は「消息が知りたい。少しでも情報提供につながれば」と話す。他の2人は78年9月22日に旧群馬町の自宅を出たまま失踪した高崎市の加藤八重子さん(同38)と、70年1月27日に安中市内のバス停で目撃されたのを最後

に行方が分からない同市松井田町の横田道人さん(同23)。拉致被害者を支援する市民団体「特定失踪者問題調査会」が2004年に公表している。

加藤さんの長女は「失踪当時は多くの情報が寄せられたが、しばらくするとほとんどなくなってしまう。掲載をきっかけに少しでも有益な情報が寄せられれば」と期待した。

横田さんの妹、真藤真由美さん(64)は「HPなら環境さえ整えばどこでも見られる。情報が1件でも寄せられれば」と期待する。県警が横田さん本人や遺留物などが発見された場合の照会に要請した口内のDNA採取にも協力しており「何かあったときの記録になれば、一刻も早い解決をお願いしたい」と話した。拉致被害者や家族らを支援している前橋市の「救う会・群馬 群馬ボランティア

アの会」の大野敏雄事務局長は「大きな進歩。政府が拉致被害者と認定した以外にも3人のような特定失踪者がいることを広く知ってもらえる」と評価した。

その上で埼玉県川口市で姿を消した前橋市出身の井上克美さん(同21)が未掲載の点に触れ「早期に埼玉、群馬両県警のHPに掲載を」と要望した。

警察庁によると、5月末現在で捜査、調査の対象は計864人。うち169人の情報を28日、失踪当時の居住地や失踪場所を管轄する警察のHPに載せた。既に親族の同意を得た124人の情報も今後掲載す

る。
県警外事課は「どんな小さなことでも情報を寄せてほしい」と呼び掛けている。情報は同課(8027・243・0110)へ。